

否定・強調・倒置・省略 10分
小テスト（基礎・24点）

年 組 番 名前_____

この紙のゴール：部分否定と全否定を書き分け、強調構文・倒置・省略を正しく使える / 選んで答える版。じっくり読めば必ず解けます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。 知識・技能 各3点

(1) ペンギンの写真を見せながら	(Not / No) all birds can fly.
(2) 割れた窓の前で犯人を言い当てて	It was Ken (that / what) broke the window.
(3) 夕日の写真を見せて	Never (I have seen / have I seen) such a beautiful sunset.
(4) 納豆が苦手だと伝えて	My sister likes natto, but I (am not / do not).

2 対話を通じるように () に英語を書こう。 知識・技能 各2点

語群: it / do / not (1回ずつ、正しい形にして使う)

A: Did everyone in your class pass the test?
B: () all of us did. Three people have to take it again.
A: That's tough. Who put the results on the board?
B: () was Ms. Sato that put them up. Only then () I understand my mistake.

3 自分のことを書こう。 思考・判断・表現 2点

「～が全部…というわけではない」を使って、身のまわりのことを英語1文で書こう。
書き出しヒント: Not all _____ are _____.

4 同じ「みんな受からなかった」でも、英語では2つに割れます。 思考・判断・表現 各2点

どちらも正しい英文です。
A Not all the students passed the exam.
B None of the students passed the exam.

① 「受かった人もいる」ことが分かるのはどちらですか。記号で答えよう。
A B

② なぜそう読めるのですか。理由を書こう。
ヒント: 「Aの not は () を打ち消していて、Bは……」の形で書く

解答

1		2	
(1)	Not	(1)	Not
(2)	that	(2)	It
(3)	have I seen	(3)	did
(4)	do not		

3（解答例） Not all students in my class are good at sports.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	A	打ち消されているのは「全員」のほうなので、受かった人は残る。
②	「Aの not は all（全員）を打ち消しているの で『全員ではない』となり、受かった人が残る が、Bの none は数そのものをゼロにしている から。」（一例）	not のとなりに何があるかで打ち消す先が変わる—これがこの単元の芯そ のもの。「部分否定だから」とだけ書いた答案には、何を打ち消している のかを1行返す。

採点のめやす

- ・大問1の正解は(1)Not・(2)that・(3)have I seen・(4)do not—4問を同じわざひとつでは書けません。「倒置の単位だから倒置」と当てにいった答案は(1)と(2)が落ちます。返却時は(1)を取り上げ、not のとなりの語で打ち消す先が変わることに1分使ってください。
- ・大問1(2)は who と書いた答案も正解です（人を強調しているため）。what と書いた答案には、強調構文の受け皿は that か who であることを1行添えてください。
- ・大問1(3)は発展版だけ空所が長くなります。have I seen 以外に、had I seen や did I see と書いた答案も、どの時点から言っているかが読み取れれば正解にしかまいません。
- ・大問1(4)に does not と書いた答案が出ます。主語が I なので do not が正解ですが、省略の考え方は合っているので、主語と助動詞の対応だけを1行返してください。
- ・大問2の語群は基礎版だけにあり、3語とも並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。標準版・発展版は語群なしの記入式で、(2)に It のかわりに That と書いた答案は不正解です—強調構文の頭は It だけだと1行添えてください。
- ・大問2(3)は Only then が文頭にあるので did が入ります。do や does と書いた答案には、うしろが understand と原形になっていることを手がかりに時制を考えさせてください。
- ・大問3は部分否定の形になっていれば内容は問いません。Not all + 複数名詞のあとの動詞が複数に合っているかを見るところにしてください。発展版は2文で1つの解答です—2文目に強調構文を選んだ答案は、that のうしろに席が欠けているかを見ます。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。AもBも正しい英文なので、どちらかが誤りだと思ってさがしても選べません。not のとなりに all があるか、none で数をゼロにしているか—形を見て意味を決める問いです。②は「not が all を打ち消している／none は数をゼロにしている」の趣旨が書けていれば表現は問いません。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図が倒置と省略まで届いていないので、大問1(3)(4)と大問2(3)を外して16点満点で扱ってください。大問4は否定の書き分けなので、この帯でもそのまま出せます。
- ・基礎固め帯は倒置まで扱うので、大問1(4)を外して21点満点です。
- ・実力帯・入試帯は24点満点で扱えます。入試帯では大問3の2文目に選んだわざを余白に書かせ、意図どおりの語が前に出ているかを見てください。
- ・10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。